

令和5年度 第3回町民ワークショップ

テーマ「11月19日の実証WS およびE案検討に向けて、周辺環境（特に公園、隣接道路など）や跡地の状況、本郷らしさとは何かを皆で確認する。」

■日時・場所

令和5年10月14日（土）10:00～12:30 跡地周辺、およびcobaco

■参加者

10名（子ども2名含む）

■内容

本日のWSの目的やルートを確認した後、まち歩きをスタートした。跡地の敷地、周辺道路の状況を確認したあと、路地をたどりながら、公園などを確認して歩き、「cobaco」でふりかえりと意見交換を行った。参加した子どもからは、「ここはあまり来ない」「机と椅子がほしい」「友達を誘いたくなる明るくて楽しい公園がほしい」など、子どもの体験を通じた周辺施設についての考えを聞くことができた。

また、ふりかえりでは、「歩きたくなる本郷のまちの魅力」「周辺施設との機能分担」「子どもが遊びたくなる遊具や場づくり」「外周道路を子どもが安心して遊べる場にする工夫」など、活発な意見交換が行われた。

■スケジュール

時間	実施内容
10:00～	○開会、あいさつ
10:05～	○本日の進め方について
10:15～11:15	○まち歩き
11:15～11:25	(休憩)
11:25～12:10	○ふりかえり
12:10～12:30	○今後の検討の進め方について（次回WSと実施計画構成案について）
12:30	○閉会

■主な意見

1. まち歩きのふり返り

【跡地】

<開放中の使い方>

- ・子供は美里ベースがある北側で遊んでいる。
- ・ボール遊びをしている子ども（小学生・中学生）が多い。中学生が5人で野球など。
- ・放課後子供教室でも、跡地を利用している。

- ・中学生や大人が、ランニング・ウォーキングで利用。跡地でイヤホンしながら外周をウォーキングしている大人もいる。ここだと誰にもぶつからないで歩ける。

<跡地の状況>

- ・地面から磐梯山の一部が少し見える。建物の上にテラス等あればもう少し綺麗に見えるのではないかな。
- ・用水路は東から西に向かって流れている（現状は蓋が閉まっている）。
- ・年に5回くらい草刈りが必要。

<思い出>

- ・学校の池で氷がはるので、度胸試しに氷にのって落ちた。氷のチキンレース。

【美里ベース】

- ・美里ベースは日常的に小学生に利用されており、跡地と行き来しながら遊んでいる。
- ・氷とか入れて飲み物を飲んだり（水と氷やは自由）、スイッチやポケモンカードで遊んだりする。ここができる前は他の公園（風の子公園、道上公園）で炎天下で遊んでいた。（子ども）
- ・小学生が帰るタイミング（学校の決まり）で、中学生が来る。（子ども）

【外周道路】

- ・子どもにやさしい道路とするため、舗装の工夫(色、段差など)や注意喚起のサインを設置する等により、車の速度を落としたり、注意してもらったりできるのではないかな。
- ・通行量がどれくらいか、どのような人が利用しているか把握する必要がある。近所の人しか利用していないのではないかな。
- ・日常的に地域の皆さんに注意喚起すれば、分かってもらえるのではないかな。
- ・子供たちが道路で遊んでいるので、車が通らないような建物配置や動線にした方が良いのではないかな。

【ふれあい広場】

- ・盆踊りを開催している。
- ・駐車場もないので、遊んでいるのは近所の子供達のみ（歩ける範囲の子供たち）。
- ・あまり遊んでいるのを見かけない。

<理由（大人が子どもから聞いている子どもの意見）>

- 隠れる場所がないため、かくれんぼ、鬼ごっこができない。
- 狭いので、思いっきり遊べない。ボール遊びなど。
- 先客がいると、そこで一緒に遊ぶ広さがない。例えば、真ん中で誰かがサッカーをしていたら、他の子は遊べない。
- 遊具がない。

- ▶ 開けていない、雰囲気が暗い。近所に住んでいる子供も行きたがらない。人がいないと尚更怖い。（参加した子どもの意見）
- ▶ キャッチボールしているボールが川へ入る（取りに行くのが面倒）。
- ▶ 川で蚊に刺される。

【瀬戸の子公園】

- ・以前は水で遊ぶことができたが、今は水がせき止められている（原因は町で確認予定）。
 - ・作った後のことを考える必要がある。
 - ・水遊びをしている子供は、そこまで多くない印象。
- <理由>
- ▶ 水遊び場が道路に面していると、子どもたちにとって使いづらい。危険。
 - ▶ 道路沿いだから小さな子は親と一緒にないと不安。
 - ▶ 水遊びをしに行くというよりは、水があるから、つい入ってしまうという感じ。
- ・年配のおじいさん、おばあさんが座っているのを見たことがあるけれど、子供の姿は見た記憶がない。

【水車公園】

- ・入口の路地が細くて素敵。本郷は小さい路地がたくさんあって歩いていて楽しい。
- ・広さが半端、遊び向けではなく、観光向けの広場に感じる。例：アート展。
- ・子供の目的になるものがなく、子供が行こうとなりづらい。
- ・広場しかない。また広場を作ったら、皆、がっかりする。広場ではなく、公園がほしい。公園＝遊具がある、テーブルといすがある（ポケモンカードできる）。（子ども）
- ・今、周ってきた公園はこのままでよい気はするが、新しく作るとしたら、今あるものとは真逆のものの方がよいと思う。真逆の要素＝遊具、屋根がある建物。だから、昨年度もC案が一番人気だった。
- ・シール貼りアンケートでも、キッチンカーやバスケットボールなどに人気があった。

【風の子公園（スライドを見ながら）】

- ・ボール遊びをするために、以前は風の子公園までいっていた。近隣では、風の子公園以外でボール遊びはできない。
- ・風の子公園含め、本郷地区の東側には遊具（ブランコ等）がある公園がいくつかある。町営住宅など住宅が多いため。
- ・風の子公園の駐車場台数は、2～3台のため、遠い人は車をとめる場所がない。
- ・風の子公園へ自転車で行くのは危ない。すれ違いが怖い。交通量が多い。
- ・5～6年生は自転車で町内の公園へ行けるが、3～4年生は自宅の周辺の公園しかいけない。1～2年生は親の付き添いがないと公園へ行けない。

【せせらぎ公園（スライドを見ながら）】

- ・中1の子どもたちは野球をするために自転車で行く。
- ・年齢が上になると硬めの球技のニーズが増えるので、それができるよう検討が必要。

【琴平公園】

- ・夜に近くの中学生・高校生が集まる。
- ・中学生などが夕方に過ごせる場所が町中にあるのも大切。

【その他の意見、まち歩き感想など】

- ・まち歩きを一小跡地からスタートするのは、気分的には良いと思った。
- ・地元の人が喜ぶものを作るべき。地元の人が喜ぶから、来街者の人も魅力を感じるのではないかな。
- ・広場などをゆっくり見ることがなかったので、新鮮な発見があった。
- ・広い場所がこういう跡地しかないので、活かしてほしいと思った。
- ・瀬戸町には集会所がないので、地区の集会所を兼ねた建物にしてみようと、そこで何か月1回、週1回やろうと、人の集まる場になるのではないかな。祭りの後の集まりの場としても利用できる。
- ・跡地を整備する時には、イベントの時には駐車場が足りなくなると思うので、駐車場をもう少し考えた方が良いのではないかな。
- ・初めて通ったところもあり、とても新鮮だった。
- ・まちなかの公園は、街や人が変わっていく中で、当初の目的と合わなくなり寂れていくと思う。そこをきちんと維持していけると良い。花が植えられていた公園もあったが、こういうことで地域の方が関わっていけたら、少しは維持されていくのではないかな。
- ・ミサトベースがそうであったように、皆が安心して利用できる場所を維持するためには、学校、民生委員、区長の方々としっかり協力しながら、運営していった方が良い。
- ・本郷の歴史的なものを表現できたらよい。
- ・何故利用されないのかという論議をしてみると良いのではないかな。

2. 次回の実証WSについて

【広報について】

- ・町民の中には、跡地に何ができるか知らない人がいる。私は、公園ができるというイメージで伝えている。つまり、情報が町民に伝わっていない。広報が足りないということを確認してもらいたい。
- ・ちらし回覧だけでは、不十分だと思う。町内の団体等にどんどんアピールをして、来て頂いて意見を寄せてもらいたい。そういったことをしていかないと、昨年のように、やったは良いが思ったほど参加者が少なかったというような残念なことになるので、力を入れていった方が良い。
- ・参加している方々にもチラシを渡して配って頂くとか、声掛けて頂く等の取組が必要。
- ・美里ベースに小学生などが、けっこう遊びに来ている。美里ベースに小学生がいる時間に直接宣伝できれば良いと思う。

